



クライマー Ver2

「くらいまあ」山之上の「登山家（とざんか）」



令和6年12月4日
校長通信（だより）14

月の土星食（どせいしょく）

早いもので、もう12月になりました。日も短くなり、いよいよ冬の寒さも厳しくなってきます。そんな中ですが、冬の夜空には、オリオン座をはじめとして明るい星が賑やかに輝いています。特に、夕方には、金星、夜には、木星や土星、火星がひととき明るくてよく目立ちます。

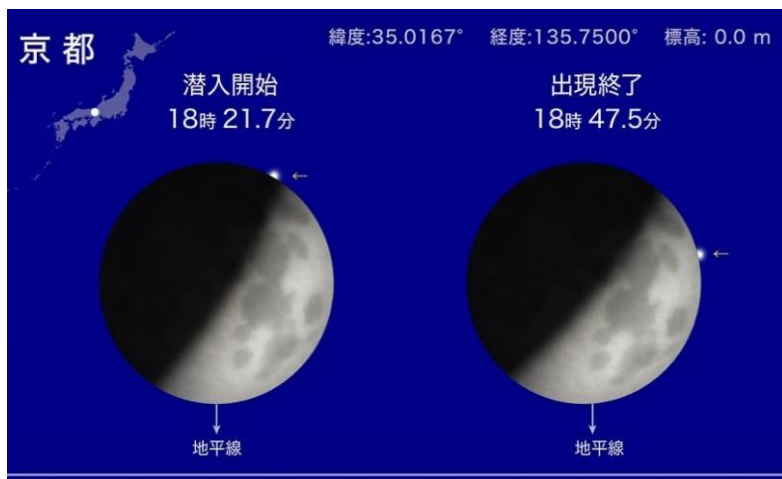
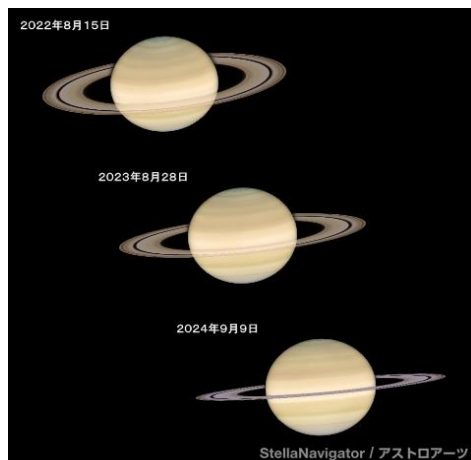
今回、12月の天体ショーとして、土星が月に隠される「土星食」が見ものと言われている。

月は、地球の4分の1の大きさ、土星は、地球の9倍ほどの大きな星です。月と土星が同じ方向に見えて、たまたま、土星が月に隠れるという天文現象です。

今の土星は、望遠鏡で見ても「土星の環」が細くて見えないくらい状態です。だいたい15年に1回、土星の環が見えなくなります。

（右の図⇒）

今回の「土星食」は、12月8日（日）夕方6時過ぎから、20分ほどの時間ですが、土星が消えてしまいます。（下の図）



天気がよければ、ぜひ、日没後の空を見上げてください。宇宙のロマン、宇宙の神秘に触れながら、あと2週間、2学期のまとめを最後までしっかりと頑張りたいと期待しています。